

## 1. 前文

- APECは、貿易・投資の自由化及び円滑化を通じ、経済成長及び地域統合のドライバーとして、地域における雇用創出や生活水準向上に貢献し続けてきたが、我々は、その利益が社会の全ての層に行き渡っていないことを認識する。これを踏まえ我々は、APECが持続的な経済成長と繁栄のエンジンとして役割を果たしていくことを改めて表明する。
- 本年のテーマ「包摂的な機会の活用、デジタル化された未来の受容」を、3つの優先課題「連結性の向上、地域経済統合の深化」、「持続可能で包摂的な成長の促進」、「構造改革を通じた包摂的成長の強化」とともに歓迎し、APECのインターネット・デジタル経済及び包摂性に関する今後の取組に期待する。

## 2. 連結性の強化、地域経済統合の深化

- 我々は、自由で開かれた貿易・投資に関するポゴール目標を達成するとの約束を再確認する。
- 我々は、政府又はその関連主体からの市場歪曲的な補助金等の支援を除去するよう緊急に求める。
- 我々は、APECビジョングループの設立を歓迎する。我々は21世紀の課題と機会に効果的に対応する戦略的かつ実地的な2020年以降のAPECのビジョンの発展に期待する。
- 我々は、より大きな地域経済統合に向けた具体的なステップとして、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の最終的な実現に貢献するためのAPECの役割に改めてコミットする。APECエコノミーが質の高い、包括的な自由貿易協定に参画するための能力向上に向け、「リマ宣言」と一致した作業プログラムを策定、実施するために更なる進展を慫慂し、本年内に首脳にFTAAPの進展に関する報告を行うことを実務者に指示する。
- 我々は、インターネット・デジタル経済の発展のため、能力構築、ベストプラクティスの共有、ケーススタディを通じた共通理解の促進の重要性に留意する。デジタル貿易円滑化のための基礎的要素（ビルディング・ブロック）の特定を慫慂するとともに、APEC越境プライバシールール（CBPR）の重要性を認識する。我々は貿易のための越境情報流通の重要性を再確認するとともに、情報・データの自由な流通に資する取組を継続する。
- 我々は、WTO等の国際フォーラにおけるデジタル分野に係る議論に関与し、支援することを慫慂する。

- 我々は、「サービス競争力ロードマップ」の目的を達成するための APEC 全体及び個別エコノミーの行動の実施や、サービスに関する規制環境を向上させるため「サービス分野の国内規制の非拘束原則」及び「サービス貿易関連規制環境測定」への取組を 慫慂する。
- 我々は、「環境サービス行動計画」の進展を 歓迎し、主要課題の特定と行動アジェンダのとりまとめを慫慂する。
- 我々は、本年末までの「製造業関連サービス行動計画」中間レビューの完了に 期待する。
- 我々は、持続的な経済成長にとっての質の高いインフラ及び開発の重要性を再確認する。我々は、「APEC インフラ開発・投資関連制度ピアレビュー及び能力構築」及び「APEC 質の高いインフラ投資ガイドブック」の改定を含む質の高いインフラに関する取組を 歓迎する。

### 3. 持続可能で包摂的な成長の促進

- 我々は、「経済的・金融的・社会的包摂の促進に関する APEC 行動アジェンダ」 を実施するとの約束を再確認する。
- 我々は、経済成長における女性の貢献の重要性を認識する。

### 4. 構造改革を通じた包摂的成長の強化

- 我々は、貿易投資を阻害する障壁の除去のためには構造改革が重要であることを認識し、良い規制慣行の促進、ビジネスのしやすさ (ease of doing business)、公共 E サービス、経済法制の強化、競争政策や公的機関のガバナンス向上等に係る APEC の作業を強く支持する。